

藤川 幸之助 氏（詩人）



「提供・長崎新聞社」

「支える側が支えられるとき」

～認知症の母が教えてくれたこと～

26歳の時、母親がアルツハイマー型認知症になる。父の死後、その遺言により母の介護を本格的に始めることに。24年間に及ぶ介護体験をもとに、命や認知症を題材にした作品を発表し、認知症への理解を深めるため全国各地で講演活動を行なっている。「子ども達にどのように認知症を伝えるか」というテーマで研究を進め、日本認知症ケア学会の「未来をつくる子どもたちの作文コンクール」では、2014年から10年間選考委員長を務めている。

日時 令和6年1月28日（日）

開演 13：00～15：00

（開場 12：30～）

会場 大牟田文化会館 小ホール

※当日はマスクの着用をお願いします。

要事前申込み

定員 300名

参加費無料

扉

認知症の母を

老人ホームに入れた。

認知症の老人たちの中で

静かに座って私を見つめる母が

涙の向こう側にぼんやり見えた。

私が帰ろうとすると

何も分かるはずもない母が

私の手をぎゅっつつかんだ。

そしてどこまでもどこまでも

私の後をついてきた。

*

私がホームから帰ってしまつと

私が出ていった重い扉の前に

母はびったりとくっついて

ずっとその扉を見つめているんだと聞いた。

それでも

母を老人ホームに入れたまま

私は帰る。

母にとっては重い重い扉を

私はひょいと開けて

また今日も帰る。

『満月の夜、母を施設に置いて』（中央法規）



藤川幸之助

【 お問い合わせ・申し込み方法 】

大牟田市介護サービス事業者協議会 認知症ライフサポート研究会（大牟田市役所福祉課内）

以下の方法で、事業所名または団体名・連絡先・参加者名をお申し出ください。

◆FAX：0944-41-2662（裏面に参加申込票があります。）

◆TEL：0944-85-0470

◆E-mail：office@omutakaigo.net（件名を「認知症ケア市民向けフォーラム申込み」としてください。）

主催：大牟田市介護サービス事業者協議会 共催：大牟田市